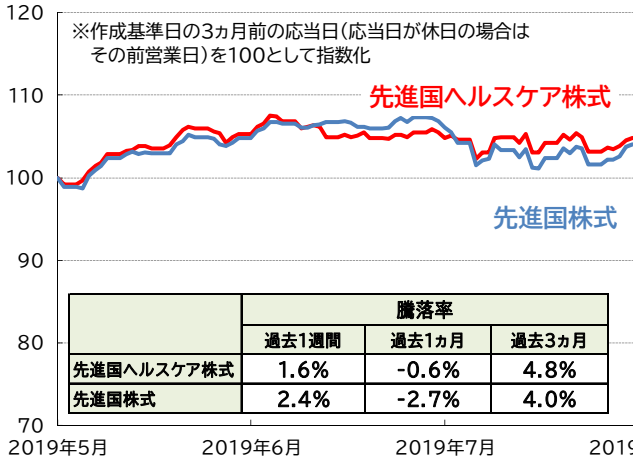


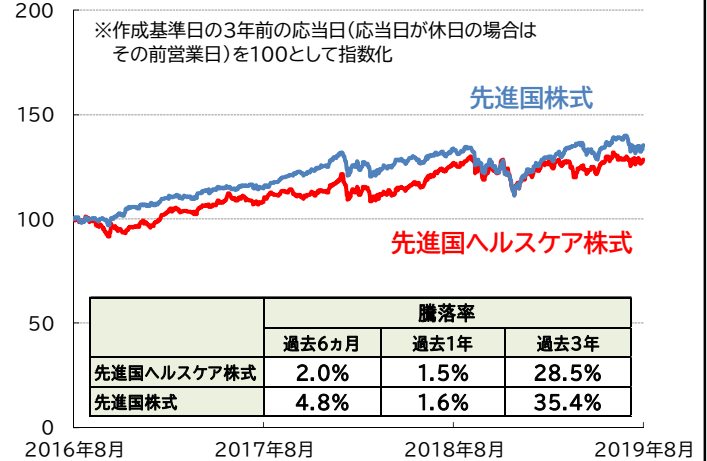
# ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

## ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
NMCAILS	16.0%
ユーロフィン・サイエンティフィック	8.6%
ファイザー&パナソニックヘルスケア	7.4%
アイテック・ラボラトリーズ	7.1%
サーモフィッシュアサイエンティフィック	6.6%

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率	1株当たり利益成長率(年率、%) 実績→3期先予想	先進国株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	コミュニケーションサービス	公益
			9.1	17.6	5.1	2.6	10.4	8.7	8.3	7.4	11.2	12.1	5.8
		今期予想PER(倍)	16.3	16.5	14.7	15.0	16.8	17.8	20.3	10.9	20.7	16.8	17.5
		3期先予想PER(倍)	13.7	13.8	11.5	12.9	13.5	14.3	17.5	9.6	16.6	14.1	16.2

(出所)Bloomberg

### ■マーケット・コメント

先週は、先進国株式、先進国ヘルスケア株式は共に上昇しました。

・先進国株式は、米トランプ大統領が中国から通商交渉再開に向けた申し入れがあったことを発表し、その後中国も対米貿易協議への期待を表明したことなどを背景に、米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから上昇しました。セクター別では、素材をはじめ、全てのセクターが上昇しました。

・先進国ヘルスケア株式も先進国株式同様に上昇しました。セクター別では、ライフサイエンス・ツール/サービスをはじめ、全てのセクターが上昇しました。

### ■ヘルスケア・バイオ関連トピック「アムジェンがセルジーンの乾癬治療薬を買収」

バイオ医薬品会社の米アムジェンは26日、皮膚疾患である乾癬の治療薬「オテズラ」を米セルジーンから買収することを発表しました。セルジーンは製薬大手の米ブリistol・マイヤーズ スクイブ(BMS)から740億ドル(約8兆円)で買収されることが発表されていましたが、米連邦取引委員会(FTC)が抗炎症薬に関する反トラスト法(独占禁止法)上の懸念を表明したことから、BMSとセルジーンはオテズラ売却の意向を示していました。今回のアムジェンの買収金額は134億ドル(約1兆4,000億円)で市場予想を上回る金額となり、BMSも自社株買いの規模拡大を発表したことなどから、BMSとセルジーンの株価は前日比で3%上昇しました。また、アムジェンも強みである抗炎症薬領域のラインナップが強化されることなどが好感され、株価は前日比で3%上昇しました。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

### 本資料で使用している指数について

- 先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
- 先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他の財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。